



「糸」と「編み」にこだわり、自社一貫生産により様々なニーズに柔軟に対応

株式会社新生 奈良県橿原市

株式会社新生は、様々な機能を持つ「糸」と、その機能を効果的に引き出す「編み」にこだわり、「自社一貫生産体制（オールインワン）」により様々なクライアントニーズに柔軟に対応することで、優れた品質・機能性を有する多種多様な健康サポーターを製造・販売している。

『儲け主義よりお客様本位』の社是のもと、「お客様の快適な健康生活に貢献できる製品づくり」に取り組んできた同社は、長年築いてきた顧客や取引先との信頼関係に甘えることなく、「古くて新しい会社」を目指して、日々、新たな分野への展開を視野に挑戦を続けている。

会社概要



会社名：株式会社新生
所在地：奈良県橿原市大軽町 360
電話：0744-27-4021
FAX：0744-27-4022
創業：1947（昭和 22）年 3 月
設立：1953（昭和 28）年 11 月
代表者：代表取締役社長 谷口 晴紀
資本金：3,000 万円
従業員：87 名（パート含む）
事業内容：健康サポーター、生理用ショーツ、衛生健康用品及び磁気治療器などの企画、製造販売
URL：<http://www.kkshinsei.com/>

“新たな柱”を据え経営危機を乗り越える

株式会社新生は、現社長・谷口晴紀氏（52 歳）の祖父・貞次郎氏が 1947 年、生理帯の製造・販売を営む新生商会として個人創業、大阪、東京へと徐々に販路を開拓し、生理帯トップメーカーへと成長していった。しかし、ナプキンの普及、石油ショック等の影響により、1960 年代以降、売上は減少傾向を強めていった。

この経営危機を乗り越えるために、当時専務だった二代目社長・祐信氏（晴紀氏の父）が“新たな柱”として目を付けたのが、現在同社の主力商品となっている「健康サポーター」であった。

高度経済成長の進展に伴い、健康に対する人々の関心が高まっていた 1973 年、同社は生理帯製造の技術を活かし健康サポーターの開発に着手。約 3 年の開発期間を経て 1977 年、健康用品第一弾「シンセイサポーター」を発売、同時に社名も現在の「株式会社新生」に改め、第二のスタートを切った。同商品は全国の医療用品卸を通じて徐々に市場に浸透し、生理帯の売上減少分を十分に補い、文字通り同社の“新たな柱”へと成長していった。

多種多様な健康用品を生み出す

健康サポーターは運動・作業時に身体にかかる負荷の軽減・痛みの緩和や冷え性対策等に使用するもので、肘、膝、手首、足首、ふくらはぎなど身体の部位によって素材や縫製が異なるため、同一商品名でも複数のバリエーションが存在する。

1979 年に厚生省（当時）の承認を得て医療用具第一弾として発売した磁気治療器「マグネベルト」は、磁気プレートを挿入したベルトを腰部に装着するもので、腰背部に作用して血行を良くしコリをほぐす効果がある。



本社（左）と室生工場（下）



このように同社はこれまで培ってきた技術やノウハウを活用し、開発・改良を重ねることによって、保温系・固定系の各種サポーター・ベルト（コルセット）に加え、ネット包帯、ソックス、サニタリーショーツ等、幅広いニーズに対応した多種多様な健康用品を生み出してきたのである。

品質・機能を左右する「糸」と「編み」

優れた品質・機能性を有するサポーターの開発で重要なのが、様々な機能を持つ「糸」の選定と、その機能を効果的に引き出す「編み」である。

例えば、汗などの水分を吸収して発熱する「吸湿発熱繊維」を用いる場合、吸湿能力が飽和状態になるとそれ以上は発熱しなくなる。そこで発熱性の持続力を高めるために肌側に発熱繊維、外側に速乾繊維といった特殊編みを施すのである。

また、運動時の関節障害予防・再発防止に用いる「スポーツエイドサポーター」では、伸縮性に富む弾性繊維を使用し、ふくらはぎ用には足の疲れ、むくみ、痛みを和らげる段階加圧設計を、膝の裏側と肘の内側部分には汗が発散しやすいよう通気性を高めたメッシュ編みを施している。さらに、抗菌性を持つ「キトサン」を練り込んだ繊維を用いることで、雑菌類の繁殖を抑え、汗等の臭いを防止している。

このように細部にまで配慮の行き届いた商品設計には、創業者・貞次郎氏が掲げた社は『儲け主義よりお客様本位』のもと、「お客様の快適な健康生活に貢献できる製品づくり」に常々取り組んできた同社のモノづくりに対する姿勢が表れているといえよう。



複数のバリエーションがあるサポーター

「クライアントのニーズになんとか応えたいという思いが強くなるあまり、開発を担当する技術陣と口論になることもあった」と社長は苦笑する。

「古くて新しい会社」を目指して

来年（2017年）には創業70周年を迎える同社。現在、商品の7割がOEM（取引先ブランドでの製造）、3割が自社オリジナルとなっており、全国のドラッグストア等で広く取り扱われている。



同社商品ラインナップの一部

社長はこれまで積み重ねられてきた自社の歴史の重みを感じる一方で、父・祐信氏の言葉「代々初代」を深く胸に刻み、社員には常々『古くて新しい会社』を目指したい」と話している。「長年築いてきた顧客や取引先との信頼関係に甘えることなく、より信頼される会社となるよう新たなチャレンジに臆せず取り組んでいきたい」との思いである。

同社は大規模な製造能力を誇る室生工場を有しており、営業企画から裁断・縫製・検査・配送に至るすべてのプロセスを自社で完結できる「自社一貫生産体制（オールインワン）」を整えている。これにより商品開発・試作品の製作も機動的に行え、様々なクライアントニーズへの柔軟な対応が可能となっている。

高齢化の進展に伴い需要の高まりが見込まれる健康用品分野であるが、一方で異業種他社の参入による競合激化も顕在化している。代々受け継いできた「お客様本位」の姿勢を貫きつつ、「古くて新しい会社」を目指して、日々、新たな分野への展開を視野に挑戦を続けている。

（前田 徹、太田宜志）